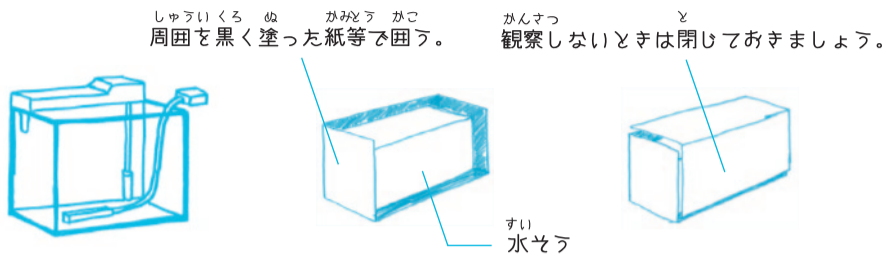


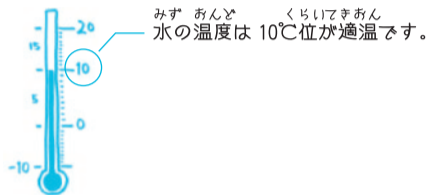
水ゼウでの育て方

1: ヒーター・ろ過装置・エアポンプのある水ゼウであれば最適です。

※直射日光を当てないように水ゼウの周囲を覆います。
 ※エサを食べ始めるまでの間は、水ゼウの周囲をなるべく暗くしておきます。



2: 井戸水または1日汲みおいた水道水を入れ、ヒーターを10℃にセットしてください。



3: 10℃だと、受精後約30日で発眼し、46日から48日でふ化が始まります。

4: ふ化が始まると、水面に泡が出始めるので、網のようなもので取り除き、水ゼウの中の水を5分の1程度取り替えます(1日1、2回)。



5: 水は、泡が出なくなったら1週間に1、2回程度取り替えます。ただし、1回の取り替えは水全体の3分の1から5分の1にします。

6: ふ化した稚魚が、卵黄(栄養分)をつけている期間はエサを与えないでください。

7: 稚魚は、ふ化した後時々泳ぐ程度で、普段は水ゼウの底で静かに横になっています。この時期は特に水の取り替えなどで稚魚を動かさないようにしてください。

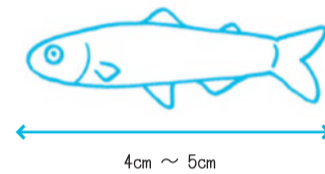
8: 卵黄が小さくなり、水ゼウの中間あたりで泳ぎ始めたら、エサを水面に浮くように与えて様子を見ます。最初に与えるエサは、指で少し揉みながら与えてください。

9: エサを食べ始めたら少量を何回かに分けて与えます。ただし、1日3回から6回程度で回数により与える量を調整してください。

10: 放流(川に流すこと)の時期には、体長が4cmから5cmくらいになります。

※水ゼウの底に小石(直径5~10mm)を入れると卵が安定してよいでしょう。
 ※ろ過装置を使うと、ふ化しても泡が出ません。

放流の時期には体長4cmから5cmくらいになります。



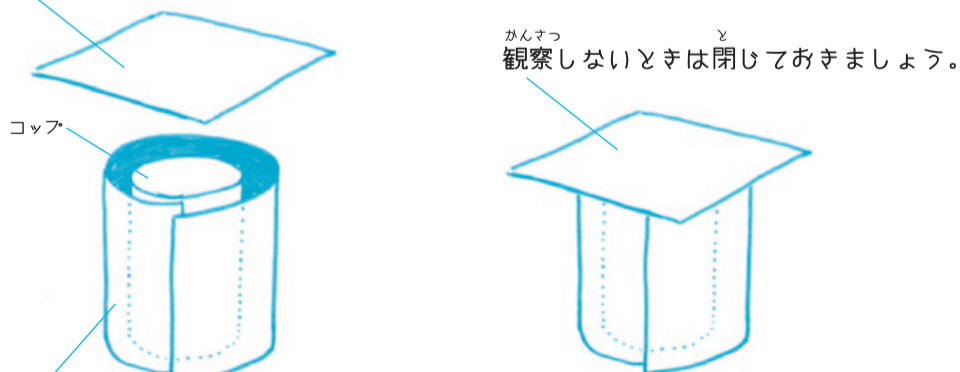
コップでの育て方

1: コップ(200cc)では、卵2個程度の飼育ができます。

2: 井戸水または1日汲みおいた水道水をいれ、温度差の少ない室内で育てるとよいでしょう。

3: 水の取り替えは、計量スプーンのような物を使用し、週2~3回行います。1回の取り替えは全体水量の分から3分の1から5分の1程度にします。その際、コップを横にして水を出したり上から直接水を入れてコップの中をかきまわさないこと。

ハガキのような紙の内側を黒く塗り、上に乗せます。



コップのまわりを黒く塗った紙等で囲う

※直射日光を当てないようにコップの周囲を覆います。
 ※エサを食べ始めるまでの間は、コップの周囲をなるべく暗くしておきます。



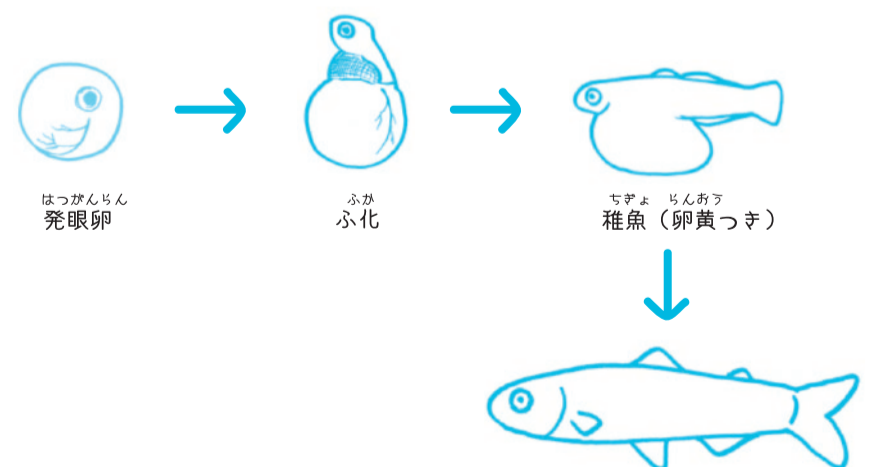
4: 割り箸のような物を利用し、水面をかきまわして酸素を入れてください。

5: ふ化したら卵の殻を取り除き(1日1~2回)3~4日ごとに水を取り替えます。

6: ふ化した稚魚はあまり動きませんが、水をかきまわしたりコップを振ったりしないでください。

7: 卵黄が小さくなり、泳ぎ始めたらエサを与えます。ただし、稚魚の数が少ないので、最初は耳かき1~2杯くらいで様子を見てください。

8: エサを与え始めると水の汚れが早くなるので、汚れてきたら水を取り替えましょう。



稚魚(体長4cm~5cmで放流へ)

